

問 白岡版防災アプリの導入を

災害時には、必要な防災情報を素早く簡単に手に入れることが大切である。市ホームページでは、防災情報の種類が多く、選択する手間がかかる。防災アプリは、あらゆる防災情報をスマホやパソコンでまとめて見られる。白岡版防災アプリを導入してはどうか。

答 防災情報の入手の簡便化に努めていく

市では、防災アプリの長所である情報入手の簡便さや見やすさを市公式ホームページにおいても再現できるよう工夫するとともに、安心安全メールや市公式LINEアカウントを活用した情報発信に、引き続き努めていく。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)

問 申請しやすい文書発信の工夫を

市からの文書は、専門用語が多く使われ分かりにくい。文章や表現、文字の大きさなどの見直しや工夫をすることで、申請や納付漏れを防いではどうか。また、視覚障がい者や高齢者のためにも、音声コードを付けて、内容を受け取りやすくしてはいかがか。

答 分かりやすい言葉で情報発信していく

市職員に対して、文書主任会議や研修などを通じて、より分かりやすく、伝わりやすい文書を作成するよう指導していく。音声コードについては、先進自治体の事例収集、導入する場合の課題の抽出など、調査研究を進め、適時適切な対応をしていく。



音声コード

問 大山小学校で特色のある教育を本気で

「小規模特認校について、まだ十分に特色のある教育を行っているとはいえない、手段を尽くしたとはいえない」との声が出ている。宇都宮の城山西小学校では「会話科」を設け、特色ある語学教育を行い、児童数の回復を果たしている。本気で特色のある語学教育を。

答 英語教育の充実に力を入れる

小規模特認校制度は、地域の環境を生かし、特色ある教育活動を推進し、学校の教育活動の一層の活性化を図るものである。現在、大山小学校では、自然環境を生かした教育の充実に努めるとともに、英語教育の充実に力を入れている。



中村匡志 議員
(白和)

問 東伸団地の道路の公道化を急げ

8つの民間開発団地のうち6つでは公道化が完了しているのに対し、2つの団地では公道化が遅れている。このような不均衡が生じたのはなぜか。東伸団地では「採納したのにいつまでも公道化されず、話が違う」とならないよう、公道化を先行させてはいかがか。

答 認定だけでもできるか検討していく

市内の開発団地の私道については、団地内の権利者の総意で市に採納いただくことになっているため、団地によって取扱いが異なる状況である。開発団地の公道化については、採納の経緯や状況等を踏まえ、認定だけでもできるか検討していく。



東伸団地の道路